

報道関係各位

2016年11月18日

## 11月19日は「世界トイレの日」 グローバルな衛生課題の解決に向けた取り組みを強化 ～世界で3人に1人が直面するトイレの不足について、理解を広める活動を推進～

株式会社 LIXIL グループ（本社：東京都千代田区、社長：瀬戸欣哉、以下 LIXIL グループ）は、11月19日の「世界トイレの日」を迎えるにあたり、水まわり分野におけるグローバルリーダーとして、世界の衛生課題を解決するソリューション開発に加え、衛生危機に対する理解を広める活動を展開します。

世界では今も3人に1人、実に24億人が、安全で衛生的なトイレを利用できない環境で暮らしています。「世界トイレの日」は、このような世界的な衛生危機に対する関心を高め、解決に向けた行動を呼びかけるべく2013年に国連によって制定されました。

LIXIL グループでは、2020年までに1億人の衛生環境を向上させるという目標を掲げており、「世界トイレの日」に合わせて、「学ぶ・シェアする・行動する」をテーマに、社内外において啓発活動を展開しています。

こうした活動の一環として、世界の衛生課題の現状についてわかりやすく伝え、1人でも多くの人に関心を持ち、行動につなげてもらうことを目的に、インフォグラフィックや動画などのデジタルコンテンツを作成しました。こうしたコンテンツをソーシャルメディアを通じて発信することで、衛生課題に対する理解の促進を図っていきます。



LIXIL グループは、2016年も衛生環境の向上に向けて最前線で取り組んできました。

### —SATO 事業の拡大と新たなイノベーションを生み出す研究開発への注力

下水道が整備されていない地域に、低価格を実現した新興市場向け簡易式トイレ SATO の提供をさらに拡大しています。SATO ブランドの製品は、汲み取り式トイレとして利用でき、非常にシンプルな仕組みでありながら、排泄物からの悪臭や、病原菌を媒介する虫の進入を防ぎ、病気の伝染を低減することができる画期的なソリューションです。これまでに14か国以上で100万台超が導入され、約500万人の衛生環境の向上を実現してきた実績があります。

さらに、衛生課題の解決に向けた複数の衛生ソリューションの開発プロジェクトが進行しています。従来型トイレと比べて1回の洗浄水量が少なく、下水管での排泄物の運搬に下水を再利用する超節水型マイクロフラッシュトイレシステムや、水をまったく使わずに排泄物を肥料として安全に再資源化し、農業に活用するという循環型のビジネスモデル構築を目指したグリーントイレシステムの研究開発を推進しています。加えて、下水道インフラや汲み取り式トイレの設置が難しい地域向けに、家庭内に設置できるポータブルトイレシステムの開発も進展しています。

※LIXIL の衛生ソリューションは、下記よりご覧いただけます。

- ・パンフレット「グローバルな衛生問題の解決に向けて～未来を築く LIXIL のソリューション」  
[http://www.lixil.com/jp/sustainability/activities/pdf/Global\\_Sanitation\\_Solution\\_JP.pdf](http://www.lixil.com/jp/sustainability/activities/pdf/Global_Sanitation_Solution_JP.pdf)
- ・ドキュメンタリー映像「Time for Global Actions LIXIL 編」（字幕版）  
<https://youtu.be/7TJaNFIWTTY>



これらの活動をより強力に推し進めるため、本年10月には、中核事業会社である株式会社 LIXIL に、途上国の低所得階層である BOP 層をターゲットとしたトイレの研究開発から商品化、事業推進を担う専任組織を設立しました。この体制強化により、複数の衛生ソリューションに関する豊富な知見やノウハウを統合することが可能となり、早期事業化の実現につなげていきます。

さらに、技術的なソリューション開発と並行し、衛生課題の解決に向けた啓もう活動にも積極的に取り組んでいます。

#### —調査レポート「衛生環境の未整備による社会経済的損失の分析」の発表

LIXIL グループは本年 8 月に、トイレの不足が世界経済にもたらす経済損失について分析した調査レポートを発表しました。この調査は、オックスフォード・エコノミクスと連携して実施したもので、2015 年には、衛生設備の不備によって世界全体で約 2,230 億ドル (約 22 兆円、1 ドル=100 円で換算) の経済損失が生まれたことが明らかとなりました。世界の経済損失は、過去 5 年間で 22% 増加しており、問題が深刻化していることを示しています。特にアジア太平洋地域では、劣悪な衛生環境によって大きな経済的損失が生まれており、その額は 1,723 億ドル (約 17 兆円) に上り、世界全体の 4 分の 3 を占めています。



※調査結果の詳細は下記 URL よりご覧いただけます。

「衛生環境の未整備による社会経済的損失の分析」

[http://www.lixil.com/jp/sustainability/pdf/the\\_true\\_cost\\_of\\_poor\\_sanitation\\_j.pdf](http://www.lixil.com/jp/sustainability/pdf/the_true_cost_of_poor_sanitation_j.pdf)

#### LIXIL グループ社長兼 CEO の瀬戸欣哉のコメント

「LIXIL グループは、安全で衛生的なトイレが不足する地域向けにソリューションを提供してきましたが、2016 年には、新興市場向け簡易式トイレ SATO の事業化を実現し、こうした取り組みをさらに拡充することができました。これからも、当社ならではの知見やリソースを結集し、革新的な衛生ソリューションを提供するとともに、衛生課題の解決に向けて大きな変化を生み出していきたいと考えています」

当社の衛生課題を解決するための取り組みに関する詳細は、下記よりご覧いただけます。

[www.lixil.com/1in3j](http://www.lixil.com/1in3j)

<参考資料>

■衛生課題に対する理解を広める各種コンテンツ

世界の衛生問題の現状について、直感的に理解してもらえよう「世界では今も3人に1人が、清潔で安全なトイレを利用できない」ことを訴えるインフォグラフィックおよびアニメーションを作成しました。

■インフォグラフィック

世界では3人に1人が、清潔で安全なトイレを利用できないことを視覚的に表現しています。



■アニメーション

トイレがない生活とは - 「3人に1人」篇

特に女性にとっての屋外排泄は、自宅から離れた人目につかぬ場所を探さねばならず、移動の途中で嫌がらせや暴行を受ける危険とも隣り合わせである事実を表現しています。



トイレがない生活とは - 「800人の子どもたち」篇

不衛生な水や排泄環境に起因する下痢性疾患で、毎日約800人の5歳未満の乳幼児が命を落としている事実を伝えます。



## ■LIXIL、LIXIL グループについて

### LIXILについて

株式会社LIXILは、戸建住宅・マンションからオフィス・商業施設などの非住宅向けに、多岐にわたる建材・設備機器および幅広い住関連サービスを提供するグローバル企業です。2011年に国内の主要な建材・設備機器メーカー5社が統合して誕生しました。以後、American Standard Brands、GROHE、Permasteelisa Groupといった海外企業の統合により、世界的ブランドを傘下に収め、現在、LIXIL Water Technology、LIXIL Housing Technology、LIXIL Building Technology、LIXIL Kitchen Technologyの4つのテクノロジー事業に加え、日本における営業活動を担うLIXILジャパンカンパニーを軸に幅広く事業を推進しています。

### LIXILグループについて

株式会社LIXILグループ（証券コード：5938）は、中核事業会社である株式会社LIXILをはじめ、株式会社LIXILビバ、株式会社LIXIL住宅研究所などを傘下に持つ持株会社で、東京証券取引所および名古屋証券取引所に上場しています。多岐にわたる建材・設備機器の製造、販売に加え、ホームセンター事業や住宅フランチャイズチェーンの運営、不動産サービスなど、幅広い住関連サービスを展開しています。2016年3月期の連結売上高は1兆8,905億円\*です。

※国際会計基準（IFRS）ベース